

**製品名: KDEL 受容体 3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12961**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	28kDa

**抗原情報**

遺伝子名	KDEL3
別名	KDEL3; ER lumen protein retaining receptor 3; KDEL endoplasmic reticulum protein retention receptor 3; KDEL receptor 3
遺伝子 ID	11015.0
SwissProt ID	O43731
免疫原	抗血清はヒト ERD23 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110

**背景**

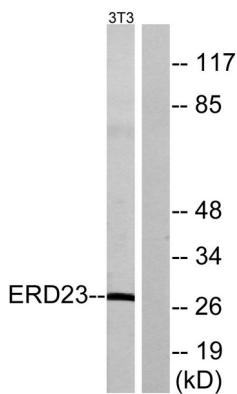
KDEL 小胞体タンパク質保持受容体 3 (KDEL3) Homo sapiens この遺伝子は、KDEL 小胞体タンパク質保持受容体ファミリーのメン

バーをコードしています。酵母と動物細胞の両方において、小胞体 (ER) の内腔に常在する可溶性タンパク質の保持は、シスゴルジ体またはプレゴルジ体区画からの継続的な回収によって実現されています。これらのタンパク質の選別は、C 末端テトラペプチドシグナルに依存しており、動物細胞では通常 lys-asp-glu-leu (KDEL)、*S. cerevisiae* では his-asp-glu-leu (HDEL) です。このプロセスは、テトラペプチドを含むタンパク質を認識して結合し、それを ER に戻す受容体によって媒介されます。酵母では、単一遺伝子 ERD2 によってコードされる選別受容体は、7 つの膜貫通型タンパク質です。酵母とは異なり、KDEL 受容体遺伝子ファミリーを構成する ERD2 遺伝子には、ヒトホモログが複数報告されている。KDEL R3 は、このファミリーで 3 番目に同定されたメンバーである。機能: 小胞体タンパク質の保持に必須。小胞体タンパク質保持システムの特異性を決定する。また、ゴルジ体を通る小胞輸送の正常化にも必須である。この受容体は K-D-E-L を認識する。類似性: ERD2 ファミリーに属する。、

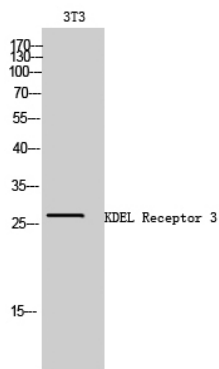
## 研究分野

コレラ菌感染症

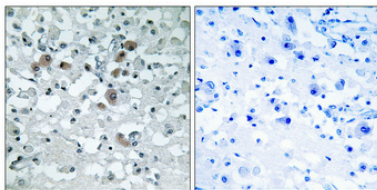
## 画像データ



ERD23 抗体を用いた NIH/3T3 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



KDEL 受容体 3 ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高压高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。